

令和6年度新入生保護者説明会

令和6年2月15日（木） 14：00～



《 説明会の流れ 》

- | | |
|----------------|---------------|
| | 司会 打田 愛美（教務部） |
| 1 開会の言葉 | |
| 2 学校長あいさつ | 豊村 和史 校長 |
| 3 星置中学校の概要 | 伊藤 達也 教頭 |
| 4 学習について | 佐藤 岬（教務部） |
| 5 生活について | 重政 光（生徒指導部） |
| 標準服、ジャージ販売について | |
| 6 諸費納入について | 山本耕太郎（管理部） |
| 給食について | |
| 7 保健について | 佐藤 久美（養護教諭） |
| 8 入学受付と入学式について | 大橋 巧（教務部） |
| 9 質疑、応答 | |
| 10 閉会の言葉 | |

札幌市立星置中学校

目 次

学校教育目標	1
本校の概要・学校教育沿革	2
校章のこころ・教職員一覧	3
生徒数・学級数 校区図	4
学習について	
一日の生活と学習、授業時数、週時程	5
教科学習	
特別な教科 道徳・総合的な学習の時間	6
「教科書及び副教材」、学習の基本	7
部活動について、当面必要な諸費用、主な年間行事	8
生活について	9
星置中学校の校則・細則	10～12
学校徴収金納入に関してのお願い	13
ゆうちょ銀行の『自動払込利用申込書』の手続きと 『学校徴収金についての同意書』の提出のお願い	14
学校徴収金の納入について（お願い）	15
給食に関する大切なお知らせ	16～17
中学生の健康について	18～19
入学受付について	20
入学式について	21
《 参考資料 》	
教科の特徴を知ろう	22～23

学校教育目標

『瞳を輝かせ 伸びやかに未来を創る生徒』

- 思いやりの心と 豊かな感性をはぐくむ (感性)
- 確かに学ぶ力と 生きる知性をはぐくむ (知性)
- たくましい体と 強い実践力をはぐくむ (実践力)

努力目標

- 感じる心を 磨き合おう
- 学ぶ力を 高め合おう
- 体と意志を 鍛え合おう

合い言葉

豊かに
確かに
たくましく

めざす学校像

かかわるすべての人にとっての
居場所となる学校の創造

学校にかかわる人の可能性を最大限に活かし、全職員が
専門職としての自覚と誇りをもって、生徒・保護者・地域
と共に創る学校を目指して教育活動にあたる

本校の概要

☆学校名称の由来

「校名選定の原則」に従い、母体校・関連小中学校PTAや関係町内会等に諮り、「所在地を表し、地域住民になじみ親しまれている。」との理由から『星置』と冠した。

☆校地・校舎面積

校地面積 20,000.190 m²
校舎面積 8,089.148 m² 屋内運動場、格技室他 2,140.519 m²

☆開 校

開校日：平成12年3月27日

母体校：札幌市立手稲西中学校

関連校：札幌市立稲陵中学校

☆校区内小学校

札幌市立手稲北小学校 札幌市立星置東小学校

学校教育沿革小史

【平成11年度】

4/1 学校事務取扱発令
10/7 校章制定
11/1 初代 土門 紘 校長発令
2/14 校歌制定
3/27 開校式・開校祝賀会

【平成12年度】

4/7 第1回入学式
10/5 第1回学校祭（平成13年度まで）

【平成13年度】

11/8 第1回合唱コンクール

【平成14年度】

9/26 第1回HCT・ステーション

【平成17年度】

4/1 第2代 小山 敏幸 校長着任
2/1 第3代 奥山 政雄 校長着任

【平成19年度】

4/9 特別支援学級開設
11/22 授業改善、学校研究モデル実践発表会

【平成20年度】

11/18 2学年職業体験（以後、毎年）

【平成21年度】

10/8 開校10周年を祝う会
11/6 開校10周年記念合唱コンクール
（コンサートホール K I T A R A）

【平成22年度】

4/1 第4代 佐藤 隆夫 校長着任
3/18 太陽光パネル設置

【平成25年度】

4/1 第5代 森長 弘美 校長着任
1/22 緊急貯水槽工事完了

【平成26年度】

4/8 第15回入学式
3/13 第15回卒業証書授与式

【平成27年度】

3/15 第16回卒業証書授与式

【平成28年度】

4/1 6代校長 丹生谷真司 着任
3/15 第17回卒業証書授与式

【平成29年度】

3/15 第18回卒業証書授与式

【平成30年度】

4/2 7代校長 藤本尚人 着任

【令和元年度】

4/9 第20回入学式
3/13 第20回卒業証書授与式（181名卒業）

【令和2年度】

4/7 第21回入学式
8/24～8/26 3年修学旅行
8/31～9/1 2年宿泊学習
3/15 第21回卒業証書授与式（183名卒業）

【令和3年度】

4/7 第22回入学式
5/22～5/24 3年修学旅行
6/1～6/2 2年宿泊学習
3/15 第22回卒業証書授与式（200名卒業）

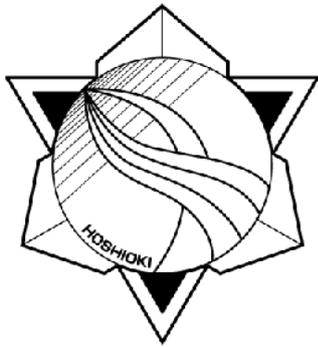
【令和4年度】

4/2 8代校長 佐々木 豊文 着任
4/7 第23回入学式
3/15 第23回卒業証書授与式（197名卒業）

【令和5年度】

4/3 9代校長 豊村 和史 着任
4/7 第24回入学式
3/15 第24回卒業証書授与式（160名卒業予定）

校章のこころ



全体は、永久に光り輝く星置の象徴である「星」をかたどり、中心の円は「地球」を表す。中央に横たわる3本の曲線は、なだらかに連なる手稲の山並みを、金色の曲線は、大いなる石狩の海へ導く山口運河と凜として行く手を標す北極星の輝光をイメージしている。星置の地に刻む直線は、先人たちの確かな足跡とこの地に寄せた思いを受け継ぎ、更に歩みを進める精神を意味する。緑を基調とした逆三角形は、学校と家庭そしてそれを支える地域社会を、また、メインとなる三つの頂点は、豊かな感性、

活きる知性、強い実践力を目指す生徒の心を表している。果てしない紺青の夜空に一段と際立って輝き続ける北極星。豊かに広がる星置の地に、平成12年の春、星置中学校の誕生。澄みきった心ときらめく個性。未来に向かって伸びやかにはばたけ。

デザイン 吉岡 正行 (初代教頭)

監修 平野 まなみ

教職員一覧

校長 豊村 和史

教頭 伊藤 達也

主幹教諭 大橋 巧

1 学 年			2 学 年			3 学 年		
学級	氏 名	教 科	学級	氏 名	教 科	学級	氏 名	教 科
1組	及川 登紀子	英語	1組	佐々木 力	社会	1組	石尾 泰章	社会
2組	小原 叶梨	音楽	2組	打田 愛美	美術	2組	坂口 大介	国語
3組	奥村 拓	英語	3組	小出 真吾	保体	3組	高橋 里英子	英語
4組	田中井 麻里	保体	4組	中田 聡	理科	4組	椿 椋介	理科
5組	田南部 巧弥	数学	5組	佐藤 岬	数学	7組	渡邊 倫之	特別支援
7組	大澤 亜由美	特別支援	7組	キャロル 千恵美	特別支援	所属	大原 岳洋	保体
7組	惣万 美晴	特別支援	所属	大橋 巧	国語	所属	丹羽 恒子	技術
所属	重政 光	数学	所属	足立 和幸	英語	所属	淀野 順子	家庭
所属	山本 耕太郎	理科	所属	松本 立司	国語			
所属	高橋 美香	社会	所属	佐藤 久美	養護			

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
栄養教諭	三宅 章子	教諭(育児休業)	日向 恵	教諭(育児休業)	富士原 芙子
事務職員	伊藤 遥	用務員	二川 雅人	調理員	中川 道子
調理員	山本 真由美	調理員	今野 恭代	調理員	齋藤 栄美子
調理員	小山内 直子	調理員	藤木 令子	調理員	佐藤 久美
調理員	石崎 梓	拠点校調理員	石田 幸恵	学校司書	浅村 麻姫子
時間講師	吉野 恵司	校務助手	横地 衣奈子	相談支援パートナー	
スクールカウンセラー	本間 さとみ	学びのサポーター	渥美 誠一	学びのサポーター	黒川 康子
学びのサポーター	伊藤 英二	学びのサポーター	藤本 尚人		

養護教諭 (産休) 田中沙也香

生徒数・学級数 (令和6年度の予定)

	計	学級数
1年	176	6
2年	172	5
3年	190	5
特別支援学級	15	2
合計	553	18

(令和6年1月現在)

星置中学校 校区図



学 習 に つ い て

1 一日の生活と学習 (令和6年度予定)

	6時間授業	5時間授業
生徒登校	8:15～ 8:30	8:15～ 8:30
朝の学活	8:30～ 8:40	8:30～ 8:40
朝の読書	8:40～ 8:50	8:40～ 8:50
1校時	8:55～ 9:45	8:55～ 9:45
2校時	9:55～10:45	9:55～10:45
3校時	10:55～11:45	10:55～11:45
4校時	11:55～12:45	11:55～12:45
給食準備	12:45～13:00	12:45～13:00
給食	13:00～13:20	13:00～13:20
昼休み	13:20～13:40	13:20～13:40
5校時	13:45～14:35	13:45～14:35
6校時	14:45～15:35	
帰りの学活	15:40～15:50	14:40～14:50
清掃	15:50～16:05	14:50～15:05

2 授業の週時数《1年生》 (令和6年度予定)

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	計
4	3	4	3	1～2	1～2	3	2	4	1	1	1～2	29

3 週時程 (令和5年度の場合)

- (1) 水曜日は5時間
- (2) 月・火・木・金曜日は6時間

4 教科の学習

- (1) 教科の名称が変わります。
 - ・算数 ⇒ 数学
 - ・図工 ⇒ 美術
 - ・体育 ⇒ 保健体育(保体)
 - ・家庭 ⇒ 技術・家庭

(2) 授業の1単位時間が変わります。(小学校45分 ⇒ 中学校50分)

(3) 教科ごとに先生が変わります。(教科担任制)

(4) 授業を受ける教室が変わります。

- ・理科 ⇒ 理科室 (普通教室の場合もあります) ・音楽 ⇒ 音楽室
- ・美術 ⇒ 美術室 ・技術・家庭科 ⇒ 木工室、金工室、被服室、調理室
- ・保健体育 ⇒ 体育館、格技室、グラウンド ・その他 ⇒ コンピュータ室、図書室

※ 学習内容が増えるので、家庭での予習や復習がいっそう大切になります。

5 「特別の教科 道徳」について

各教科、特別活動、総合的な学習の時間等との関連を配慮し、それらにおける道徳教育の実践において、不足する部分を「補充」し、浅い部分を「深化」し、分散した内容を「統合」します。教科書や読み物資料を指導の中心に位置づけ、適切な授業展開を通し、一人ひとりの道徳的価値の自覚を促し、道徳的心情を養うとともに、道徳的判断力を身に付けさせ、さらに道徳的実践力を育てることを目的としています。

本校での道徳の評価については・・・

- ・年度末に1回、数値による評価ではなく記述式で行う。
- ・評価材料は、毎時間の授業で生徒が提出するワークシート、学期ごとの振り返りシート、授業観察などを踏まえて行う。
- ・個人内評価であり、学習状況と道徳性に係る成長の様子を評価する。

6 「総合的な学習の時間」について

本校では総合的な学習の時間を「HCT (ホクト)」という独自の名称で呼んでいます。

「HCT」は「Hoshioki Creation Time」の頭文字を取った略称で、「星置中学校の生徒が、自ら考え、工夫、努力し、助け合いながら、自分自身の土台をつくり上げていく時間」を意味しています。

さらに「この時間を通して以下の7つの力を身につけ、北斗七星のように輝く人になってほしい」という願いが込められています。

- ① 自分で考え、自分の課題を選び、自分で決める力
- ② 課題の解決に向けて、情報を集め活用する力
- ③ 同じ課題を持った仲間と協力して活動する力
- ④ 学習活動で得た知識や情報・資料などをまとめる力
- ⑤ 調査活動や話し合い・討論などに積極的に参加できる力
- ⑥ 報告会や発表会などにおける表現する力
- ⑦ 次の学習に生きる反省や評価をしっかりとできる力

「HCT」の時間の学習は、1学期の旅行的行事(1学年は校外学習)の活動の一部、2学期のHCT・ステーション(総合的な学習の時間の発表)、3学期の職業調べの取り組みを通し、年間50時間行います。また、総合基礎として、『総合的な学習の時間』の学習の仕方などの基礎的な内容を学習したり、朝10分学習などの取り組みもあります。

「教科書及び副教材」

(1) 教科書について

4月10日（水）（入学式後1回目の登校日）に配布します。

この日は教科書を入れるバッグ類が必要になります。

(2) ワークブック・教材・教具について

① ワークブック類は、4月11日（木）に販売する予定になっています。

教材・教具等は、入学後、プリントでお知らせします。

② 国語や英語で使う辞典類は、授業の中で教科担任が連絡します。

③ 各教科で使うノートもそれぞれ違います。教科の指導を受けてから購入してください。

中学校で使う教材や教具は、ご家庭にあるものやお兄さんお姉さんが使ったもので十分間に合う物もありますので、それを使用していただいても構いません。

また、本校では、9教科の授業道具を学校で用意されたボックスに収まる程度置いていてもよいことになっています。教科書・資料集・便覧・ワーク・ファイル（テストなどが閉じられていないもの）*ただしノートは持ち帰る。その他、美術の絵具セットや国語の書写の道具も可

7 学習の基本

(1) 真剣な授業への取り組みが大切

- ① チャイム席を守る。
- ② 授業中はしっかり話を聞く。
- ③ 授業に積極的に参加する。
- ④ ノートを丁寧に書く。
- ⑤ 忘れ物をしない。

(2) 毎日の家庭学習が大切

- ① 生活リズムの確立。
- ② 家庭学習に毎日取り組む習慣をつける。
- ③ 学習時間を確保する。

(3) 学習に取り組む目標が大切

- ① 自分なりの“目標”を決めて努力する。
 - ・これだけは大丈夫という得意教科を伸ばす。
 - ・英語が話せるようになりたい、など。
- ② 将来の夢を・・・
 - ・英語を活かして、国際的な仕事をしてみたい。
 - ・理科が好きだから、科学者になって環境問題に取り組みたい。
 - ・歴史が好きだから、遺跡を発掘する仕事につきたい。

8 部活動について

部活動は、必ずしも全員が加入するものではありません。自分の興味や関心の高いものの力を伸ばしたり、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人は積極的に参加してください。単に技術を伸ばすだけでなく、活動を通してあいさつや人に対する思いやりの心など、マナーの面も育ってほしいと願っています。

<令和5年度開設>

★体育系

バスケットボール	野 球	ソフトテニス
バレーボール	サッカー	陸 上
バドミントン	卓 球	スポーツレクリエーション

★文化系

吹奏楽	写 真・コンピュータ	美 術
-----	------------	-----

※ 部活動としては設置されていませんが、以下の種目については中体連の大会に参加できます。

- ・剣道 ・柔道 ・相撲 ・水泳 ・器械体操 ・新体操 ・スキー ・スケート
- ・アイスホッケー

9 当面必要な諸費用 (諸経費や5月以降の分は除く)

- (1) 標準服代 ※小学校で配布された資料参照
 - (2) ジャージ上下、ハーフパンツ代、Tシャツ ※小学校で配布された資料参照
 - (3) ワーク代 7,000円程度(令和5年度は6,750円)
- (リコーダー、書道道具、彫刻刀については、小学校で使用していたものをそのまま使用できます。)

10 主な年間行事(令和6年度予定)

- 1学期 入学式、新入生歓迎会、校外学習、第1回到達度測定テスト
中体連、体育大会、期末懇談など
- 2学期 HCT・ステーション、第2回到達度測定テスト
合唱交流会、期末懇談など
- 3学期 スキー学習、第3回到達度測定テスト、卒業式など

生活について

(1) 登校・下校時間

- ・登校時間は8時15分から30分までです。
- ・下校時間は学級活動、生徒会活動、委員会活動があった場合でも16時40分に下校を完了します。

(2) 通学方法

- ・徒歩通学を原則とします。
- ・特別な事情がある場合は、学級担任に申し出てください。

(3) 服装

- ・男女とも学校指定の標準服を着用します。
- ・夏服の場合は、男子は白のワイシャツ、女子は白のブラウスにベストを着用します。開襟・肩章付きは禁止とします。儀式以外は白無地のポロシャツの着用を認めています。
- ・ネクタイとリボンは儀式的行事や指定された学校行事などで着用します。
- ・スカートの長さはひざがかくれる程度としています。

(4) ジャージ

- ・体育の授業や体育的行事・部活動などでは、学校指定のジャージ・ハーフパンツを着用します。なお、体育の授業のTシャツも学校指定のものになります。

(5) 履物

- ・上靴は、ひもつきの白が基本で、体育の時間にも使用できるものとします。
(学校指定はありませんが、黒色の底は床を汚す場合がありますので禁止しています。)
- ・外靴はひもつきの運動に適した靴を用意してください。
※上靴・外靴とも高価なものや安全面で心配のあるものは購入しないようにしてください。

(6) カバン類

- ・学校指定はありません。学校の授業道具を入れて通学するのに適したカバンを使ってください。
- ・部活動の道具などがある場合は、サブバッグを用意するとよいでしょう。

(7) 頭髪について

- ・パーマをかけたり、髪の色を変えたり、整髪料の使用は禁止しています。長さは前髪が目にかからない程度です。

(8) その他

- ・ブレザーの胸に名札をつけます。
- ・名札・台布は、4月1日(月)の入学受付時に配付します。
- ・校内への携帯電話の持ち込みは禁止しています。

《参考資料》

星置中学校の校則、細則 令和5年度（2023年度）版

1 校則のおさえ

教育の目標を達成し、生徒の学校生活を守り育てる上で、秩序維持機能上や集団・社会のあり方を学ぶ教育機能上、どうしても必要なものとしての「きまり」がある。この「きまり」は最小限に厳選した基本事項とする。また、「学校として決定するもの」、「短期間に変更しないもの」という性質を持つ。

校 則

（前文） 校則とは、私達の集団生活を規律正しく有意義なものにするためのきまりです。

時 間

（1）日課時間を守る。

安全規定

（2）登下校は原則として徒歩とし、通学路を通る。

（3）登校後、許可なく校地外へ出ない。

諸 届

（4）欠席、遅刻、早退は担任に届け出る。

身だしなみ

（5）服装 本校指定の標準服を、身だしなみを整えて着用し、名札をつける。

〈Ⅰ型〉 ブレザー：シングル前2つボタン、エンブレム付き、シンボルマーク付きボタン

スラックス：ワントック、ストレート型

ネクタイ：金茶色（ワントッチ）

〈Ⅱ型〉 ブレザー：シングル前2つボタン、エンブレム付き、シンボルマーク付きボタン

スカート：18本車ひだスカート、ウエストアジャスター仕様、スカート丈は膝下0～15cm

スラックスを着用してもよい。

ベスト：シングル前4つボタン、シンボルマーク付きボタン

リボン：金茶色（ワントッチ）

ネクタイ、リボンは儀式等で必ず着用（例：始業式、終業式、入学式、卒業式）

内 着：男子は白のワイシャツ、女子は白のブラウス（開襟・肩章付きは不可）

*上着を着用しない時は内着とし、女子はベストを着る。但し、

儀式以外は白、無地のポロシャツの着用も認める。

（ネクタイ・リボン着用の時 → ポロシャツは不可）

名 札：上着の時—黒色の台布（縦 6 c m、横 6.5 c m）に縫い付け左胸ポケットにつける。
内着の時—Ⅰ型はワイシャツに安全ピンで、Ⅱ型はベストに付ける。
ジャージ、Tシャツ：本校指定のものを着用する。

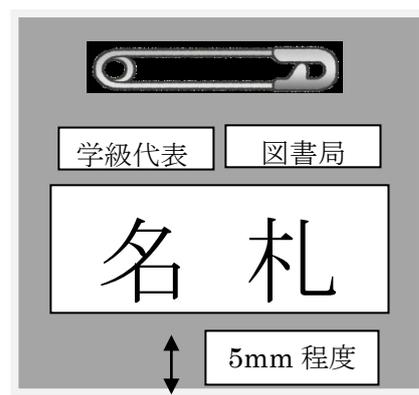
- (6) 頭髪 中学生らしく清潔な髪型とし、前髪は目にかからない。
(7) 靴 上靴：紐付きの白が基調もの、体育の時間にも使用できるもの
生ゴム底が望ましく、黒色など床を汚すものは禁止する。
外靴：中学生らしく、高価、華美なもの、安全面で心配のあるものを
さける。

持ち物

- (8) 学校生活に支障をきたすものは持ってこない。
(9) 金銭の貸し借り、物品の売買は禁止する。

その他

- (10) 上記以外にも学校から提示される事項を守る。



付 則

- (11) (5)～(8)の校則は、必要に応じて細則を設け、細則の改定は生徒総会で行う。以下の細則は平成31年4月1日より一部改訂して施行する。

2 細則（生活の心得）のおさえ

「きまり」の中でも「細かなもの」、「短期間で変わっていく可能性のあるもの」という性質をもっています。できるだけ生徒自身の手でつくり上げ、話し合っただけで決めてほしい内容をもっています。今の細則は下記の(1)～(4)の内容を考えながら、生徒たちが時間をかけて話し合っただけでつくられたものです。

- (1) 安全な学校生活ができること。
- (2) 基準がはっきりしていて生徒自身が判断しやすいこと。
- (3) 清潔で、さっぱりしていること。
- (4) 高価・華美でないこと。

細 則

(1) 頭髪

- ・パーマ、染色、脱色、整髪料、ドライヤー等での加工は禁止。ただし、寝ぐせをドライヤーで直すことは加工とみなさない。
- ・流行に流された特殊な髪形は認めない。
- ・長さ：男子は襟にかからない。

- ・女子のゴム、ヘアピンの色は金、銀、蛍光色以外の無地のもの
(ただし、ヘアピンは銀色も認める)、リボンと髪飾りは禁止とする。

(2) ソックス

- ・シンプルな柄や派手すぎないものは認める。
 - ・ワンポイント、レース編みは良い。
- *体育時のソックスについては、体育実技の授業の中でオリエンテーションの説明を聞いてからご用意してください。

(3) ストッキング

- ・黒、肌色、紺、灰色の無地。 ・模様のあるものは禁止。

(4) ベルト

- ・中学校生活にふさわしいものとする。

(5) 内着の中

- ・蛍光色は禁止。

(6) コート類

- ・革系統のものは禁止。

(7) 外靴

- ・サンダルは禁止。
- ・ロングブーツは下駄箱に入るものとする。

(8) 持ち物

- ・学習に関係ないものは持ってこない。
- ・必要以外のお金は持ってこない。

令和5年度(2023年度)は、コロナウイルスやインフルエンザ感染防止対策のため、学校生活のきまりについて弾力的な運用を行っています。以下はその具体例の一部です。なお次年度の運用については未定です。

- 校内での服装は標準服を基本とし、体育の授業がある日は、学校指定ジャージ(半そで・ハーフパンツ)で登校する。
- 冬季期間においては換気が必要なため、教室内での上着の着用を認める。

《学校徴収金納入に関してのお願い》

～ 学校徴収金の納入方法は、ゆうちょ銀行口座振替です。 ～

本校では、学校徴収金の納入方法（費目詳細は下記参照ください。なお、宿泊学習費や修学旅行費、斡旋販売の副教材等は別途請求となります。）について、ゆうちょ銀行口座振替を利用しております。

学校徴収金の取扱いについては、札幌市より金銭事故防止や出納事務の効率化のうえからも、学校では現金での取り扱いをできるだけ避けるように指導されておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【納入について】

- ① 年間5回の引落を予定しております。なお、月毎の均等割にはなっておらず、5、6月は他の月より高額になります。実際の金額については後日おたよりを発行します。
(5月に初回引落、5～9月の毎月27日が引落日です。銀行が休業日の際は翌営業日の引落となります。)
- ② 4月と10～3月には引落がありません。
- ③ 1回の引落に手数料として10円がかかります。

【参考：令和5年度の1年生の納入金額】

令和5年度	年間学校徴収金
保健費	460
生徒会費	2,000
教材実習費	19,745
学校諸費	2,448
P T A 共済会	600
P T A 会費	2,460
体育文化振興会	3,240
用紙・雑費	150
年間合計金額	31,103

※P T A 共済会保護者分掛金、P T A 会費、体育文化振興会費については長子のみの請求となります。

※就学援助等を受けられる方は保健費が免除になります。

※特別支援学級は教材実習費 7,900 円、学校諸費 720 円、保健費、生徒会費、P T A 共済会、P T A 会費、体育文化振興会会費については上記の通りです。

ゆうちょ銀行の『自動払込利用申込書』の手続きと 『学校徴収金についての同意書』の提出のお願い

「自動払込利用申込書」につきましては、必要事項をご記入の上、保護者の方が直接ゆうちょ銀行で手続きしていただくこととなります。例年、初回引落日は5月を予定しており、口座登録まで1，2ヶ月かかることから、**3月7日（木）までに**手続きしていただきますようお願いいたします。

また、「学校徴収金についての同意書」は、4月1日（月）の新入生受付日にお子さんに持たせてください。印鑑をお忘れの場合、再提出をお願いすることになりますので、お忘れのないようご確認をお願いいたします。

申込書には、ボールペンではっきりと必要事項を記入してください。生徒一人につき1枚の申込書と同意書が必要です。お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【記入必要事項】

①お申込人 （口座名義人）	……………	通帳に書かれている名義人と住所を記入してください。 保護者・生徒のどちらの通帳でも構いません。
②払込先	……………	「札幌市立星置中学校」 「02730-4-84987」となります。
③払込金の種別	……………	「学校諸費 30」にレ印をつけます。
④払込開始月	……………	「2024年5月から」となります。
⑤払込日	……………	「毎月27日」となります。（再払込日はありません）
⑥ご契約者	……………	記入する必要はありません。
⑦備考欄	……………	<u>お子様の現在の小学校名・組と氏名（フリガナ）</u> を記入 してください。

- ・「自動払込利用申込書」の手続き…………… 3月7日（木）までにゆうちょ銀行へ
- ・「学校徴収金についての同意書」の提出…… 4月1日（月）新入生受付日

以上、よろしくお願いいたします。

※ご不明な点がございましたら、星置中学校 松本（教諭）・横地（集金事務）までお問い合わせください。

TEL (011) 686-3711

保 護 者 様

札幌市立星置中学校長
豊村 和史

学校徴収金（学校諸費）の納入について（お願い）

平素は、本校の学校教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、学校におきましては、学習教材の購入や校外学習の費用として、保護者の皆様から学校徴収金（学校諸費）を納入していただいております。納入額、納入期日等については別途お知らせいたしますが、本校では下記の経費について徴収させていただく予定であります。

この学校徴収金に未納がありますと、教材の購入等に支障をきたし、子どもたちの学びに影響が出る可能性もあるため、札幌市の私立学校においては、全ての保護者の皆様に「学校徴収金の納入についての同意書」をご提出いただき、円滑な収納にご協力をお願いしております。

つきましては、令和6年4月に入学されるお子様の保護者の皆様には、**令和6年4月1日（月）の新入生受付日**に、別添の同意書を提出していただきますようよろしくお願いいたします。

学校徴収金の重要性をお察しいただき、これに関する同意書を提出していただくことについて、何卒ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校徴収金の内容

■保健費

日本スポーツ振興センター共済掛金

■生徒会費

生徒会の運営に要する経費

■教材実習費

学習教材、実験・実習費、学力検査等に要する経費

■学校諸費

用紙費、各学年費、事務費等

■体育文化振興会費

■PTA会費（PTAに加入される方のみ）

【お問い合わせ先】

札幌市立星置中学校（担当：松本）

TEL 686-3711

中学生の食生活について

1. 給食に関して

■ 学校給食のねらい

- ①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること
- ②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと
- ④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと
- ⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと

■ 給食費について

給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費や人件費などは、札幌市が負担とし、保護者の皆様にご負担いただいている給食費については、食材の購入のみに使用しております。

令和5年度より、札幌市では学校給食費を公会計化し、これまで各学校で行っていた学校給食費の徴収・管理を札幌市が行なっております。

給食費及び納期限のお知らせは札幌市より行うこととなっておりますので、ご承知おきください。

★「公会計」に移行しましても、納期限までに学校給食費の納付が確認できなかった場合、食材の購入や献立内容に大きく影響し、学校給食の運営に大きく支障が生じます。納期限までの確実な納付をお願いいたします。滞納が長期にわたる場合には、従来通り裁判所を通じた法的措置が執られることとなります。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 食物アレルギー対応について

中学校では小学校に引き続き食物アレルギー対応を行っています。事前に小学校で提出していただいた食物アレルギー調査に基づき、学校給食での対応を行います。提出書類が必要な方につきましてはご連絡いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、給食での対応が必要な方につきましては、入学式の後に面談をさせていただくこともありますので、合わせてご承知おきください。

食物アレルギー対応につきまして、入学前にご相談やご質問がある方は、栄養教諭（三宅）までお問い合わせください。



2. 家庭での食生活に関して

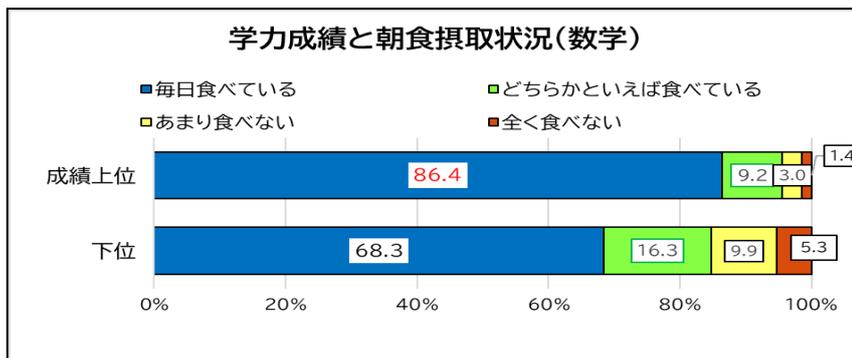
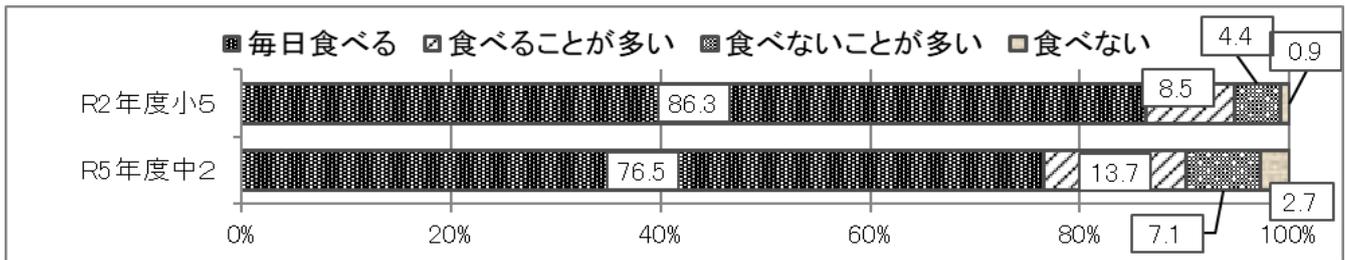


中学生になると、思春期をむかえて、心も体も急速に成長します。この時期に、食と健康に関する正しい知識を身に付け、自分で健康管理ができるようにしなければなりません。

いきいきと楽しい人生を送るためには、まず健康！生涯の健康の基礎は、まさに今、作られています。

① 朝ごはん、食べていますか？

下記のグラフは平成26年度から全市で実施している「児童・生徒の健康と食生活に関する調査(小学5年生・中学2年生対象)」結果の一部です。今年度の調査対象の中学2年生は、小学5年生時と同じ調査を行ったことから、小学5年時(3年前)と中学2年時(今年度)の調査結果を比較してみました。小学校の時期よりも中学生のほうが、朝ごはんを「毎日食べる」生徒の割合が低い結果となっています。



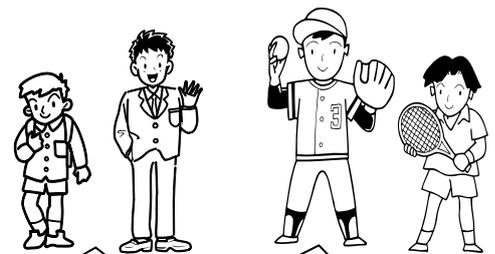
右のグラフは毎年行われている「全国学力・学習状況調査」の朝食摂取と学力との関係です。

成績上位の方が朝食を毎日食べている率が高くなっています。

中学校の給食開始時刻は、小学校よりも20分ほど遅くなります。午前中の学習に支障をきたさないように、しっかりと朝食をとるように、ご家庭でも心掛けてください。

② 正しい知識を身に付けましょう！

給食では同じくらいの量を一人ずつ盛り付けられますが、本来、一人一人の体格(身長)により必要な栄養量は変わります。自分の体の成長や将来の健康を考えて、決められた時間内で、バランスのとれた食事ができるようにしたいものです。



自分のからだと健康を考えましょう！

中学生の時期は成人よりも多くのたんぱく質・ビタミン・ミネラルなどを必要とします。

部活などで運動する場合、運動量にあわせて必要とする栄養の量も多くなります。

心と育ちの食事 5つの食

1 体で感じる食

生活のリズムは3度の食事で作られます。体を動かし、食事をおいしくいただき、バランス良く食べましょう。

2 料理を楽しむ食

料理作りを体験することで、食べる楽しさや、家族の人の役に立つ喜びが分かります。

3 みんなで楽しい食

家族や仲間と食べることで食事がより一層おいしく感じられます。正しいマナーや習慣を身に付けましょう。

4 命の育ちの食

自然の恵みや命の大切さを感じ、作る人や食べ物への感謝の気持ちをこめて「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしましょう。

5 未来へ伝える食

地域には、長年培われてきた食文化があります。食と地域のつながりに関心をもち、未来へ食文化を伝えましょう。

星置中学校の保健室

- 学校で具合が悪くなった時
- 学校で怪我をした時
- 自分のからだのことが知りたい時（身長・体重の測定など）
- 相談したい・話を聞いてほしい・ホッとしたい時



保健室はこんな時に
利用します。

養護教諭の
佐藤久美です。

保健室で行う手当てとは？

保健室では、応急処置の範囲内で行う手当てを行います。病院ではありませんので基本的には薬を使用することはできません。薬が必要な場合は、家庭から持参するようお願いしています。また、保健室は教育の場でもありますので、手当てをするだけでなく、生徒が自分のからだについて考えたり、自分で健康管理をしていけるように支援していきたいと考えています。



生徒に話を聞いて、一緒に考え、体温なども参考に、「教室で様子を見る」「保健室で休養する」「早退する」などの対応を判断します。

中学生になると…

「具合が悪いのに無理をして登校したり、早退を嫌がる場合」があります。理由は、「欠席日数が気になる。」「家の人に怒られる。」「部活動に出たい。」「習い事（塾）に行きたい。」など。無理をして頑張っても、結局は症状が悪化したり長引いてしまう場合が多いです。授業への参加が難しいほど体調が悪い時には、「しっかり休む」「病院を受診する」など、体調の回復を第一にお願いいたします。



■ケガをした時■

擦り傷や切り傷などは「水で洗う」、打撲や捻挫などは「冷やす」ことを基本に手当てをしています。

学校で怪我をした場合は、怪我の様子・程度により、保護者の方にご連絡をいたします。

- ①家庭で様子を観ていただいて、必要に応じて病院の受診をお願いする場合
- ②保護者の方に学校へ来ていただいて、病院を受診していただく場合
- ③学校から直接病院に連れて行き、保護者の方には病院で合流していただく場合（緊急を要する場合のみ）

最近、保護者の同席がないと治療ができない場合や個人情報保護の観点から保護者にしか診断の説明をしない場合、保険証がないと保険扱いにならない病院が多いため、保護者の方の付き添いをお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

お願い① 緊急連絡先を必ずお知らせください！

入学受付で配付される「健康カード」に、携帯電話番号や勤務先の電話番号など、日中連絡がとれる連絡先を必ず記入して、入学式の日に提出してください。年度途中で変更があった場合には、必ず学級担任へお知らせください。

お願い② 身体面でご心配な点があれば、いつでもご相談ください！

本日、健康調査票をお渡ししています。4月1日の、入学受付時に必要事項を記入の上、提出してください。それをもとに、さらに詳しくお話を聞きたい場合は、こちらから連絡をさせてもらうことがあります。場合によって、面談となることもありますが、ご了承ください。

中学生の「こころ」と「からだ」

からだ

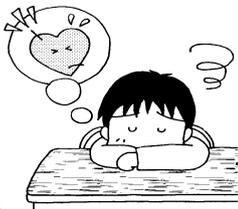


中学生（思春期）は、「からだ」が大きく変化（成長）する時期です。男子では、身長が1年間で10cm近く伸びることも珍しくありません。また、二次性徴といって、からだの内側も発達・成熟します。子どもはそんな急激なからだの変化に心が追いつけず体調を崩すことがあります。適切な生活習慣を身に付け、規則正しい生活リズムを心掛けることで元気に過ごすことができます。ご家庭では、十分な睡眠と規則正しい食生活などご協力をお願いいたします。

中学生期に起こりやすい保健室でみられる症状

○脳貧血 ○月経痛 ○起立性調節障害 ○過敏性腸症候群 ○過換気症候群（過呼吸）など

こころ



「思春期」は、「こころ」も大きく変化します。「自分」について考えたり、「他人の目」が気になったり、感情の変動も大きく、甘えたい気持ちと自立したい気持ちの間で揺れ動きます。また中学生になると、特に大人へ言葉で伝えることが少なくなります。その代わりに、言語化されない不安や悩みは、「身体化」「行動化」で表されることがあります。お子さんが、「繰り返し身体的不調を訴える」「食欲がない」「眠れない」「表情が暗い」「イライラして反抗的になる」「言葉遣いが荒い」「自分を傷つける言動が見られる」などの時は、お子さんの話をゆっくり聞き、気持ちを受け止めるようにしてみてください。不安や悩みを抱えているとき、話を聞いてもらうだけで安心や自信につながるものです。ご家庭での安心感が中学校生活への活力を育てていきます。

こころとからだのバランス

体調不良の原因には、こころの状態が大きく関係している場合もあります。これは、からだを支配している自律神経（交感神経と副交感神経）が、生活リズムだけでなく、ストレスなどのこころの状態の影響も受けやすいからです。

○微熱が続く ○頭痛 ○腹痛 ○吐き気 ○下痢 ○便秘
○息が苦しい ○じんましん など

こころの問題と思われる場合でも、まずは身体の症状を受け止め、休養させることが一番です。子どもたちは、具合が悪い時に優しくしてもらうことが一番うれしいと言います。軽度の場合は、それだけで「こころの元気」も回復することが多いのです。ただし、症状が長引くときは、小児科などの医療機関にかかることも必要です。からだに苦痛がある状態では頑張るエネルギーは湧きません。大切なのは、原因を「こころ」「からだ」とどちらか一方に決めず、相互に作用しあっていることを忘れずに、元気が回復する手立てをお子さんと一緒に考えてあげることだと思います。

中学1年生の4月～5月

4～5月は、不安と緊張の連続です。新しい環境に適応しようと頑張り過ぎて、自分では気付かないうちに、疲れて体調不良を招きやすい状態になっています。「からだ」の面では、十分な睡眠と規則正しい生活を、「こころ」の面では、頑張っている姿への理解や温かな声かけなどをお願いいたします。

小学校との違い

体力面	精神面
○カバンの重さ	○教科ごとに
○部活動 (運動量の増加)	先生が変わる
○50分授業	○新しい友達
○6時間日課 など	○先輩の存在 など

お子さんのことで気になることや困ったことがありましたら、いつでもご相談ください。

《入学受付について》

【入学受付要領】 ※ 新入生のみの登校です。保護者同伴ではありません。

- 1 登校時間 4月1日(月) 12時45分～13時(時間厳守)
※ 早く来すぎないようにお願いします。
- 2 受付場所 正面玄関から体育館に入り、受付をします。
- 3 持参する物
 - (1) 「入学通知書」：札幌市教育委員会発行の葉書で、自宅に郵送されます。**必ず持参**させてください。
※表の空いている場所に電話番号を記入してください。
 - (2) 「学校徴収金についての同意書」
 - (3) 「バッグ」等：印刷物等を配付しますので、それらを入れるバッグを用意させてください。
 - (4) 「上靴」：小学校で使用しているものでかまいません。
 - (5) 「筆記用具」
 - (6) 「健康調査表」
- 4 服装 普段着(私服)でかまいません。
- 5 配布物
 - (1) 「入学式の案内」
 - (2) 「個人カード」など
※ 必要事項を記入し、入学式の日持参させてください。
 - (3) ワーク販売について
4月11日(木)本校にて販売予定。この日にプリントを配付します。

◎ 新入生の動き

登校	玄関	受付	下校
12:45～ 13:00	外靴をブルーシートに置き、体育館へ移動	担当の先生が受付します	14:00ごろの予定です

- ★ 急用があつて入学受付に来られない場合は、その旨を中学校に連絡し、「入学通知書」と「学校徴収金についての同意書」を事前に届けてください。

教科の特徴を知ろう 《参考資料》

- 《国 語》 すべての学習の基礎となる教科です。日常生活の中でしっかりと文章を読むことができ、内容もわかり、言葉を正しく使えるようになることを目指しています。また、書写の時間もありますが、毛筆の道具は小学校で使っていたもので十分です。その他、作文や創作、音読、話し合いやスピーチなどの表現の学習にも取り組みます。
- 《社 会》 1年生では「地理的分野」と「歴史的分野」を学習します。「地理的分野」では世界の国々についての学習をし、「歴史的分野」では日本を中心に歴史の大きな流れを学習します。いずれの学習も知識のみではなく、考える力や表現する力なども高めていきます。なお、教科書以外に地図帳が配付されます。
- 《数 学》 小学校の「算数」が「数学」に変わります。算数で学んだことを基礎として、筋道を立てて考えたり、説明したりすることが多くなります。そのために数量、図形についての問題を自分で考え、見通しを立てて、式を作り、計算し、図形を書き、工夫を凝らす必要があります。また、問題を解くだけでなく、その問題を解くときに、どのような考え方が大事であったかをまとめることも重要になります。
- 《理 科》 理科の学習内容は、第1分野（物質・エネルギー）と第2分野（生命・地球）の2つの分野に分かれており、計画的に学習していきます。自然界で起きている様々な現象を科学的にとらえて、筋道を立てて考えることが重要となります。また、理科室で実験や観察を行う授業も多くなります。
- 《音 楽》 音楽では、歌唱・器楽・創作・鑑賞の4つの領域を関連づけながら学習していきます。楽器はソプラノリコーダーや和楽器、ギターを使うこともあります。
- 感性を働かせ、言語活動を通じて他者と協働しながら表現したり感じ取ったりする力を育みます。
- 《美 術》 「図画工作」から「美術」に変わります。表現および鑑賞の幅広い活動を通して、創造活動の喜びを味わう学習です。絵画だけでなく、彫刻、デザイン、工芸などの制作や鑑賞をします。自分が感じたことを生き生きと表現し、与えられた目標をふまえて創造性を追求する姿勢を重視します。
- 最後まで粘り強く制作することを願っています。

《保健体育》 教科名が「体育」から「保健体育」に変わります。「保健分野」は心身の機能の発達や心の健康について、「体育分野」は球技、ダンス、武道などを通してそれぞれの技能を身に付けたり、学習の仕方を学んだりします。なお、体育の実技授業は指定のジャージ、Tシャツ、ハーフパンツを着用することになります。また、男女ともに武道における柔道の授業では、柔道着を着用しますが、詳細は後日お知らせします(様々な感染症の感染状況によっては、柔道ではない武道を実施する場合があります。ここ数年は空手を行っています。)

《技術・家庭》 実践的・体験的な活動を通して、技術分野ではものづくりやエネルギー変換及びコンピュータ活用、生物育成等に関する基礎的な知識と技術を習得します。家庭分野では生活の自立に必要な衣食住と家族や消費生活に関する基礎的な知識と技術を習得します。

《英 語》 アルファベット(大文字・小文字)とローマ字の読み書きはできるようにしておいてください。小学校で学習した連語や慣用表現(600~700語程度)は1つでも多く習得していることが望ましいです(発音できる、意味がわかる、書ける)。もちろん、中学校でも復習(確認)はしますが、小学校で学習しているという前提で授業を進めていきます。PCやスマホなどで教科書のQRコードを読み込み、単語や本文の発音を聞くことができるので、家庭での音読練習に活用してください。ALTは1年間常駐し、およそ週1回授業に参加します。生の英語に触れ、楽しく英語の学習をしていきます。